

のびるよ そだつよ

国立市立国立第五小学校 研究便り

校長 白鳥 聡

NO. 3 令和4年11月10日

(編集：国立第五小学校 研究部)

この「のびるよ そだつよ」は、本校が進めている研究活動を保護者の皆様にご紹介するための研究便りです。研究内容や公開授業の日程、子供たちの様子等をホームページ上でお知らせしていきます。

2年1組 国語「お手紙」 9月14日(水)

子供たちと初めの感想を出し合った時に、この物語で読み深めていくことを話し合っただけで学習を進めてきました。当日は、かえるくんががまくんに手紙を書いたことを告白してしまう場面でした。かえるくんはどんな気持ちからがまくんに打ち明けてしまったのか、本文から大事な言葉や文章を選びながらかえるくんの気持ちを想像しました。



2学期に入って、相手の考えを知ったり自分の考えを伝えたりするという

“友達との対話”が学習の中でもできるようになってきました。普段子供たちが使う、友達の考えに繋がろう



とする言葉や、より分かりやすく伝えようとするために紡がれる言葉を教室の中に掲示し、話し合いの中で誰でも使えるようにしてきました。その言葉を使って友達と感想を交流したり読み深めたりすることで、自然と子供たちが話しやすい雰囲気を作りながら伝え合おうとできていたと思います。これから出会う様々な国語教材を通して、大事な言葉や文章を選び取って人物の気持ちを想像する力や、友達の考えを知って学びを深めていくところはさらに伸ばしていきたいと思っています。

6年2組 社会「全国統一への動き」 10月20日(木)

まず、キリシタン大名の勢力拡大やキリシタンの反乱などの江戸時代に起こった変化を知りました。その後、「江戸幕府の老中になったつもりで、秀吉以来の日本の課題だった『西洋とどう付き合うか』』に対する考えをもちトリオで交流して考えを深め、実際に行われた鎖国政策とを比較して考える授業形態をとりました。自分の考えをもつ、交流する場面では、オクリンクを活用しました。

よかったところは、オクリンクを活用したことで、全員の児童が自分の考えをもち、それを表明することができたことです。

課題点は、トリオで考えた意見を全体で交流することが不十分で、全体の考えを深めることができなかったことです。

課題点を改善していくことで、主体的な学びを深い学びに変換できるように取り組んでいきます。



